

## にいがた教育フォーラム 2020 in March (中止)

横堀 壮昭

3月7日(土)、新潟大学教育学部において様々な立場の方と集い、教育や子どもについて語り合い、ともに学び合う機会として「にいがた教育フォーラム 2020 in March」を実施予定だったが、新型コロナウイルスの流行への懸念から、開催中止となった。開催中止が決定された2月26日時点で170人以上の参加申し込みがあった。

【プログラム】	10:10～11:40	ワークショップ
	12:40～14:10	ポスターセッション
	14:30～16:00	ラウンドテーブル

### 1. ワークショップの概要

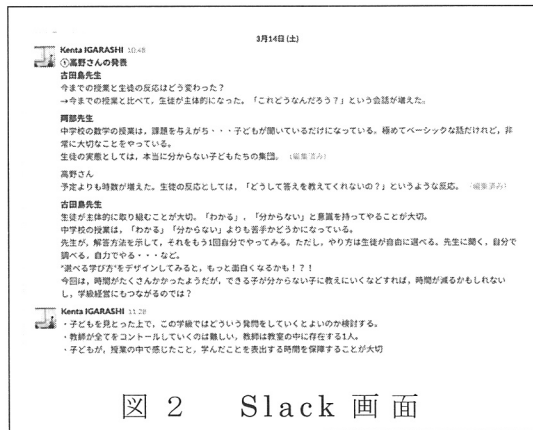
ワークショップは、テーマ「学校教育に役立つ技術等を学ぼう」のもと、教職大学院修了生、大学教員、各分野の専門家や附属学校教員が講師を務め、専門的な視点からの講話や演習、交流など、多様なスタイルでの講座が計画されていた。内容(表1)は多岐にわたっており、全ての講座に多数の参加希望があった。

表1 ワークショップの内容

No.	ワークショップテーマ
1	日本語のもつ身体性、音楽性 ～音楽科と国語科をつなぐ～
2	いじめ被害経験者との直の対話から学ぶ ～なぜ教師は彼を救えず「見ぬ振り」ができたのか?～
3	実感を学びにつなぐ教材や授業の工夫 (衣生活編)
4	感情のコントロール ～コミック会話とアンガーマネジメントを活用して～
5	学級担任につくる小学校外国語の授業
6	学級診断ツール Q-U を用いた校内研修の方途 ～新項目が加わった Q-U の解釈と対応を中心に～
7	社会に開かれた教育課程を創る ～特色ある教育課程の事例研究～
8	試行ツールでつくる「考え、議論する道徳授業」
9	新学習指導要領のものと社会科カリキュラムと 楽しく力のつく社会科授業づくり
10	授業の事例検討を通した子どもの学びの分析

## 2. ポスターセッションの概要

ポスターセッションは、教職大学院院生が各自の研究について発表し参加者とともに議論し合う予定だった。今回のフォーラム中止を受け、院生有志の呼び掛けから、有志による Web 上でのポスターセッションを行った。ポスター等発表資料は、クラウドから閲覧できるようにし、ポスターセッションは「Zoom」によるビデオ会議システムと「Slack」によるチャットを活用して行った。初めての試みだったが、Zoom、Slack 上では、活発な意見交換がなされた。院生からは、「対面と同レベルのスムーズな協議ができた。」「今後このような機会が増えてくると思うので、実際に体験することができてよかった。」「自分自身のこれまでのコミュニケーションの仕方が、いかにその場での空気や相手の反応等の非言語の部分に頼っていたことが分かった」といった声が聞かれた。Web 上でのポスターセッション終了後の参加者アンケートでは、全員が「大変満足」または「満足」という回答であった。



## 3. ラウンドテーブルの概要

ラウンドテーブルは、六つの分科会（①教育課程編成、②授業づくり、③生徒指導・教育相談、④学年・学級経営、⑤学校経営、⑥特別支援教育）に分かれて実施される予定であった。